

## 2023 年の九州・山口県の天候の経過

- 春から秋にかけて気温の高い状態が続き、九州北部地方（山口県を含む）と九州南部の年平均気温はかなり高く、九州北部地方の年平均気温 1 位を更新した。
- 九州北部地方では、春の平均気温が 1946 年の統計開始以降 1 位（タイ）となった。

### 1 2023 年の天候の特徴

春から秋にかけて気温の高い状況が続き、低温は一時的だったため、九州北部地方と九州南部の年の平均気温はかなり高く、1946 年の統計開始以降、九州北部地方では 1 位となった。年間の降水量は全域で平年並だった。年間の日照時間は奄美地方でかなり多かった。

2023 年の季節別の気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）の値を表 1 から表 3 に示す。なお、気温・降水量・日照時間の階級の色表現を表 4 に示す。また、九州北部地方、九州南部、奄美地方の気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）の 2022 年 12 月から 2023 年の時系列図を図 1 から図 3 に示す。

### 2 季節毎の概況

**冬（前年 12 月～2 月）・・・九州北部地方と九州南部で多照。奄美地方で高温・多雨。**

九州北部地方と九州南部では、高気圧に覆われやすい時期があったため、日照時間が多かった。奄美地方では、1 月中旬や 2 月前半などは暖かい空気に覆われやすかったため、冬の気温は高くなった。奄美地方では、12 月は前線や低気圧、寒気の影響を受けやすく、2 月上旬は前線の影響を受けやすかったため、冬の降水量は多くなった。

**春（3 月～5 月）・・・九州北部地方と九州南部でかなりの高温。九州北部地方の春の平均気温は 1 位（タイ）。奄美地方でかなりの多照。**

九州北部地方と九州南部では寒気の影響を受けにくく、暖かい空気に覆われやすかったため、かなりの高温となり、九州北部地方は春の平均気温の 1 位（タイ）、九州南部は 2 位となった。

奄美地方では、高気圧に覆われやすかったため、日照時間はかなり多かった。

**夏（6 月～8 月）・・・九州北部地方でかなりの高温。奄美地方でかなりの多雨・かなりの寡照。**

九州北部地方では、夏を通して暖かい空気に覆われやすかったため、夏の平均気温はかなり高く、九州北部地方は夏の平均気温の 2 位となった。特に九州北部地方では 8 月上旬の高温が顕著であった。

九州南部・奄美地方では、梅雨前線と台風第 6 号の影響で、夏の降水量は多く、特に、奄美地方ではかなり多くなった。

また、奄美地方では夏の日照時間はかなり少なかった。

**秋（9月～11月）・・・九州北部地方、九州南部、奄美地方で高温・かなりの多照。  
九州南部と奄美地方でかなりの少雨。**

秋の平均気温は全域で高温となった。特に、9月は暖かい空気に覆われやすく残暑が厳しく、9月の平均気温は九州北部地方で1位（タイ）、九州南部で1位、奄美地方で1位（タイ）となった。11月は気温の変動が大きく、上旬は九州北部地方でかなりの高温、九州南部と奄美地方で高温となったが、中旬は冬型の気圧配置となり、全域で低温となったが、月平均では平年並となった。

降水量は、低気圧や台風の影響を受けにくかったため、九州南部と奄美地方ではかなり少なく、奄美地方では少ない方の2位だった。

日照時間は高気圧に覆われやすかったため、全域でかなり多く、特に九州南部では多い方の1位となった。

**12月・・・奄美地方で高温。**

奄美地方では、寒気の影響が弱く12月の月平均気温は高温となった。上旬後半から中旬前半にかけて寒気の流れ込みが顕著に弱かった一方、中旬後半から下旬前半にかけて強い寒気の流れ込んだため、気温の変動が大きかった。

降水量と日照時間は全域で平年並であった。

**表1 2023年の季節別の気温の地域平均平年差**

気温平年差 (°C)	九州北部地方 (山口県を含む)		九州南部		奄美地方	
冬 前年12月～2月	0.0	平年並	+0.1	平年並	+0.3	高い
春 3月～5月	+1.3	かなり 高い	+1.1	かなり 高い	+0.7	高い
夏 6月～8月	+1.0	かなり 高い	+0.4	高い	-0.1	平年並
秋 9月～11月	+0.8	高い	+0.4	高い	+0.4	高い
12月	+0.8	平年並	+0.6	平年並	+0.8	高い
年間(2023年)	+1.0	かなり 高い	+0.6	かなり 高い	+0.4	高い

表2 2023年の季節別の降水量の地域平均平年比

降水量平年比 (%)	九州北部地方 (山口県を含む)		九州南部		奄美地方	
冬 前年12月～2月	102	平年並	110	平年並	108	多い
春 3月～5月	129	多い	97	平年並	94	平年並
夏 6月～8月	98	平年並	133	多い	153	かなり多い
秋 9月～11月	69	少ない	48	かなり少ない	35	かなり少ない
12月	88	平年並	113	平年並	100	平年並
年間(2023年)	101	平年並	103	平年並	96	平年並

表3 2023年の季節別の日照時間の地域平均平年比

日照時間平年比 (%)	九州北部地方 (山口県を含む)		九州南部		奄美地方	
冬 前年12月～2月	106	多い	104	多い	103	平年並
春 3月～5月	107	平年並	106	平年並	118	かなり多い
夏 6月～8月	100	平年並	91	少ない	84	かなり少ない
秋 9月～11月	116	かなり多い	125	かなり多い	125	かなり多い
12月	91	平年並	102	平年並	106	平年並
年間(2023年)	107	多い	106	多い	108	かなり多い

表4 気温・降水量・日照時間の階級の色表現

色	気温	降水量	日照時間
	かなり高い	かなり少ない	かなり多い
	高い	少ない	多い
	平年並	平年並	平年並
	低い	多い	少ない
	かなり低い	かなり多い	かなり少ない
太字は統計開始以降の1位を記録したことを示す			

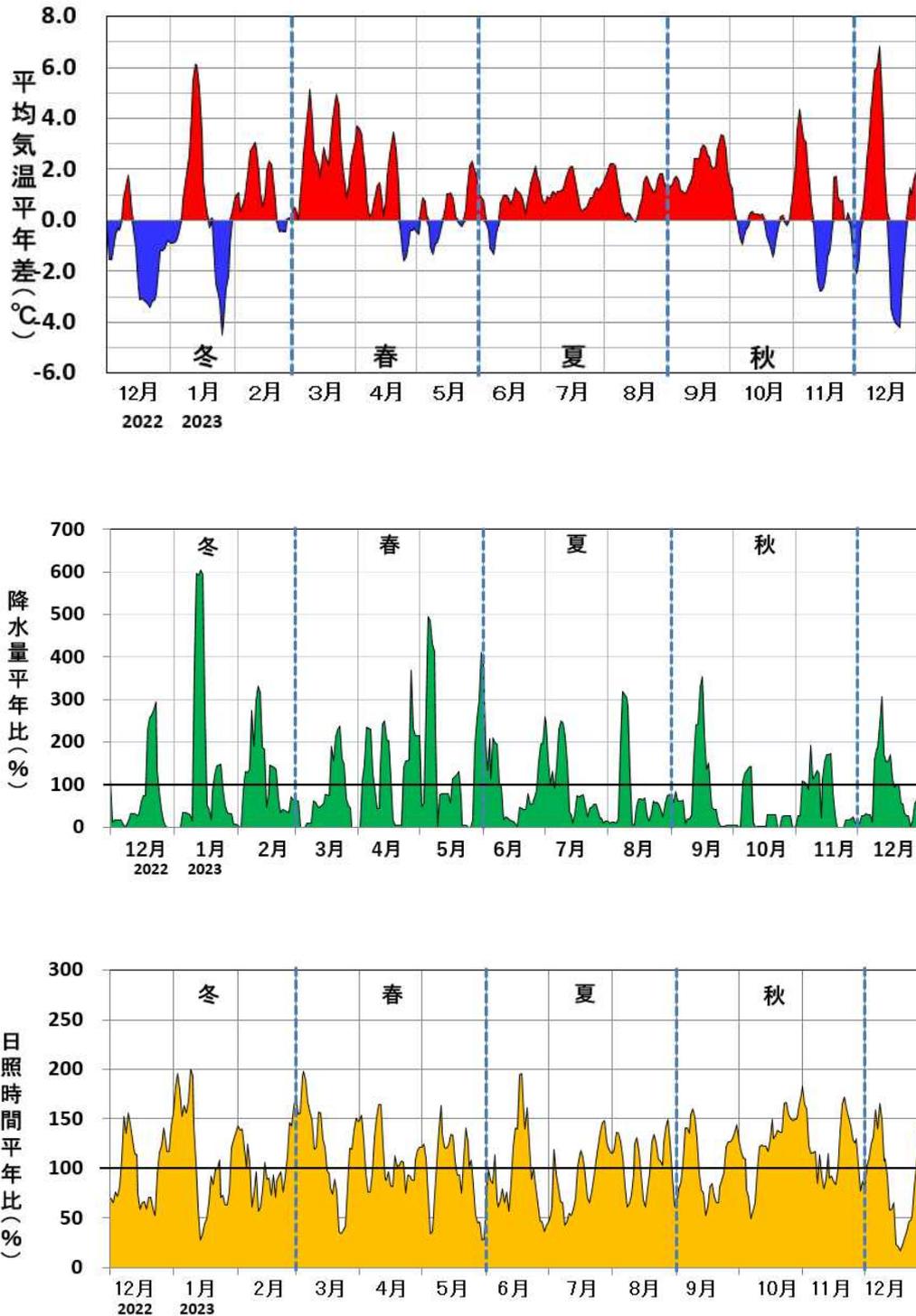


図1 九州北部地方（山口県を含む）の気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）

グラフの値はいずれも5日移動平均値を示す。気温の赤色は平年を上回り青色は平年を下回る。降水量・日照時間は平年比100%より大きいと平年を上回り、100%より小さいと平年を下回る。

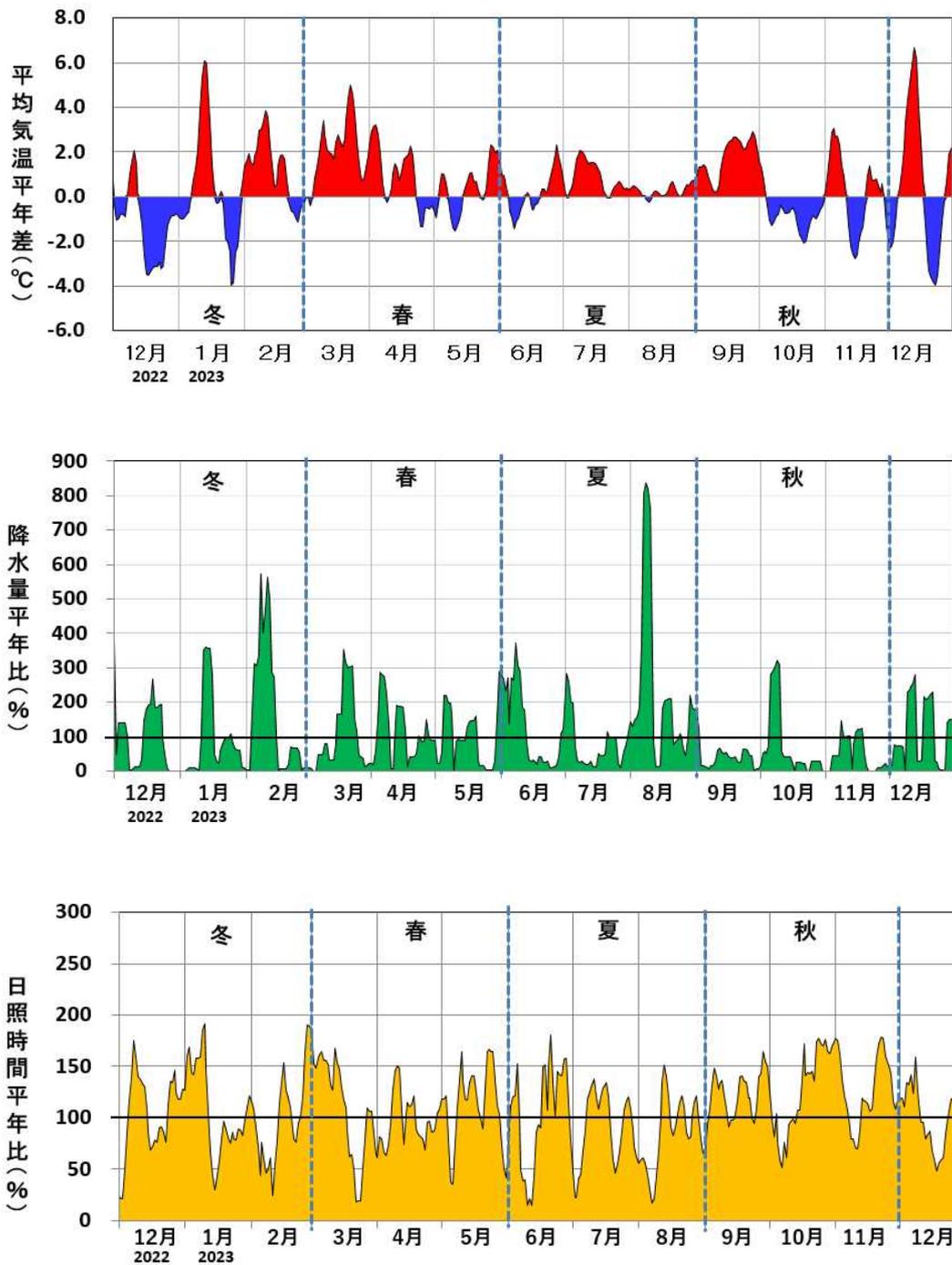


図2 九州南部の気温・降水量・日照時間の地域平均平年差(比)

グラフの値はいずれも5日移動平均値を示す。気温の赤色は平年を上回り青色は平年を下回る。降水量・日照時間は平年比100%より大きいと平年を上回り、100%より小さいと平年を下回る。

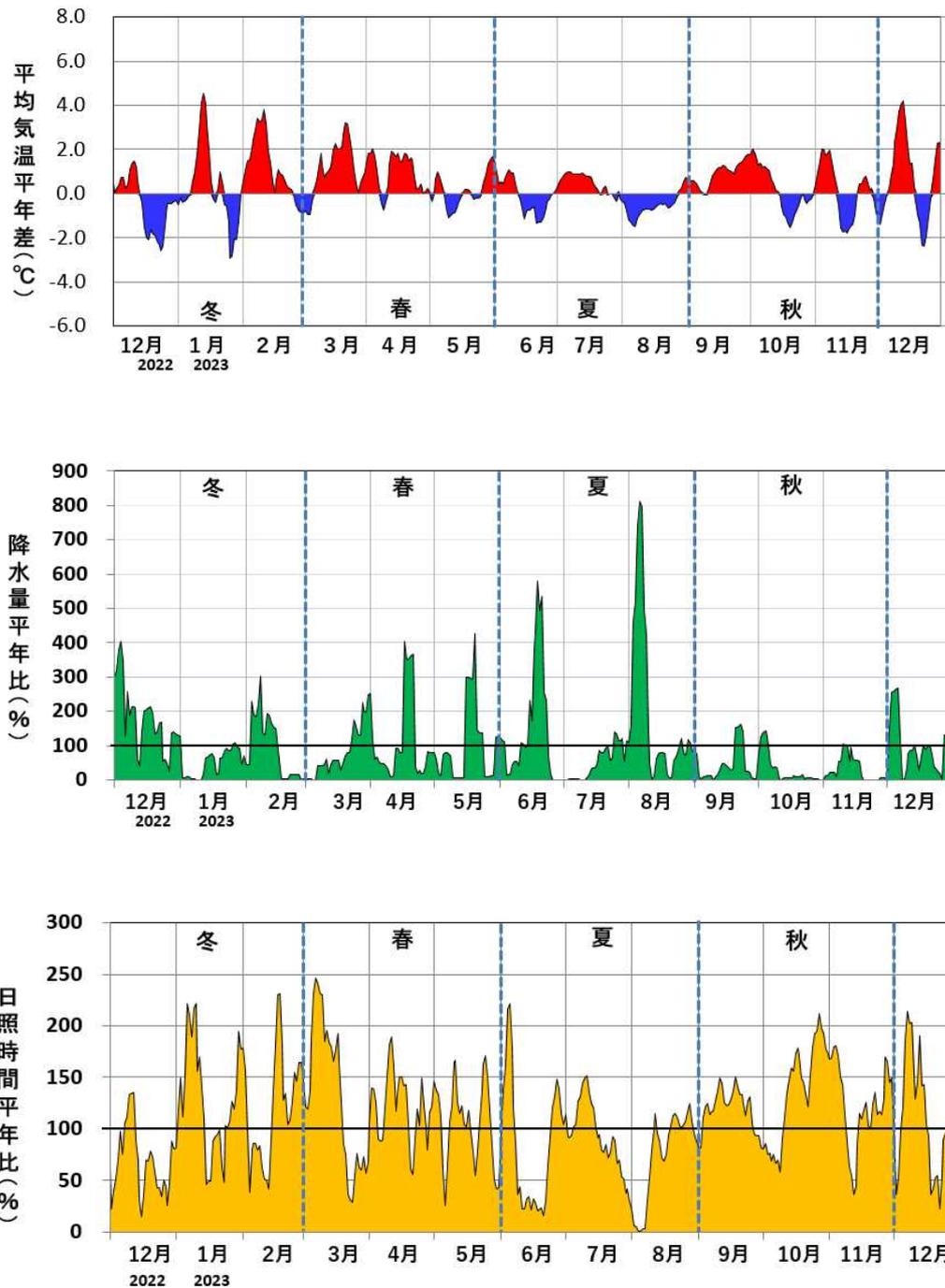


図3 奄美地方の気温・降水量・日照時間の地域平均平年差(比)

グラフの値はいずれも5日移動平均値を示す。気温の赤色は平年を上回り青色は平年を下回る。降水量・日照時間は平年比100%より大きいと平年を上回り、100%より小さいと平年を下回る。

### 3 2023年の梅雨の特徴（表5）

#### （梅雨入り）

奄美地方では、5月に入っても高気圧に覆われることが多かったが、5月中旬後半に東シナ海から日本の南岸を通過した低気圧の影響を受けた。このことから、平年より遅い5月18日ごろに梅雨入りした。

九州南部・九州北部地方（山口県を含む）では、5月中旬から5月26日ごろまでは、高気圧に覆われることが多かったが、5月27日以降、前線や台風第2号から暖かく湿った空気が流れ込み、日本海側で前線が活発化したため、九州北部地方では5月29日ごろ、九州南部では5月30日ごろ梅雨入りした。

#### （梅雨明け）

奄美地方では、6月2日に台風第2号が接近し、6月中旬には前線活動が活発となり、線状降水帯が発生するなど大雨となった。6月下旬には前線は北上し、奄美地方では6月25日ごろ梅雨明けした。

九州南部・九州北部地方（山口県を含む）では、6月末から7月中旬にかけて九州北部付近で前線が停滞し、7月1日に山口県で、7月3日に熊本県で、7月10日に福岡・佐賀・大分県で線状降水帯が発生するなど大雨となった所があった。7月中旬後半に太平洋高気圧が本州付近に張り出し、四国地方、中国地方、近畿地方、東海地方で梅雨明けした（いずれも7月16日頃）後、前線が日本海から太平洋側に南下して、北陸地方（7月21日頃）、および関東甲信地方、東北南部、東北北部（いずれも7月22日頃）が梅雨明けした。前線が不明瞭となった後も太平洋高気圧の縁辺に沿って流れ込む湿った空気の影響を受けやすかったため、九州南部と九州北部地方は7月25日ごろに梅雨明けした。

#### （梅雨の時期の降水量）

梅雨の時期の降水量は、九州北部地方と九州南部では平年並、奄美地方では多かった（表6）。

表5 2023年の梅雨入り・梅雨明け

地域	梅雨入り	平年	梅雨明け	平年
九州北部地方 (山口県を含む)	5月29日ごろ (早い)	6月4日ごろ	7月25日ごろ (遅い)	7月19日ごろ
九州南部	5月30日ごろ (平年並)	5月30日ごろ	7月25日ごろ (かなり遅い)	7月15日ごろ
奄美地方	5月18日ごろ (遅い)	5月12日ごろ	6月25日ごろ (平年並)	6月29日ごろ

カッコ内は平年の時期との比較。朱書は記録更新を示す。

なお、梅雨は季節現象であり、その入り明けには平均的に5日間程度の移り変わりの期間がある。

表6 九州・山口県の主な地点における2023年梅雨の時期の降水量

	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	平年値 (mm)
九州北部地方 (平年比105% 平年並)	下 関	814.0	145%	563.0
	福 岡	705.5	129%	548.7
	佐 賀	1015.5	146%	693.8
	長 崎	601.5	96%	628.6
	熊 本	770.0	92%	835.3
	大 分	628.0	109%	574.9
九州南部 (平年比102% 平年並)	宮 崎	919.5	107%	855.6
	鹿児島	974.0	104%	935.1
奄美地方 (平年比134% 多い)	名 瀬	790.0	112%	705.5

九州・山口県の6～7月（奄美地方では5～6月）合計降水量（平年値は1991～2020年の平均値）なお、平年比は九州北部地方（山口県を含む）では、萩、山口、下関、福岡、飯塚、佐賀、長崎、厳原、平戸、佐世保、福江、雲仙岳、熊本、人吉、牛深、大分、平戸の17地点、九州南部では、宮崎、延岡、都城、油津、鹿児島、阿久根、枕崎、屋久島、種子島の9地点、奄美地方では、名瀬、沖永良部の2地点で算出。

#### 4 2023年の台風

九州・山口県への台風の上陸はなかった。九州北部地方（山口県を含む）、九州南部、奄美地方への台風接近数は表7のとおりである。

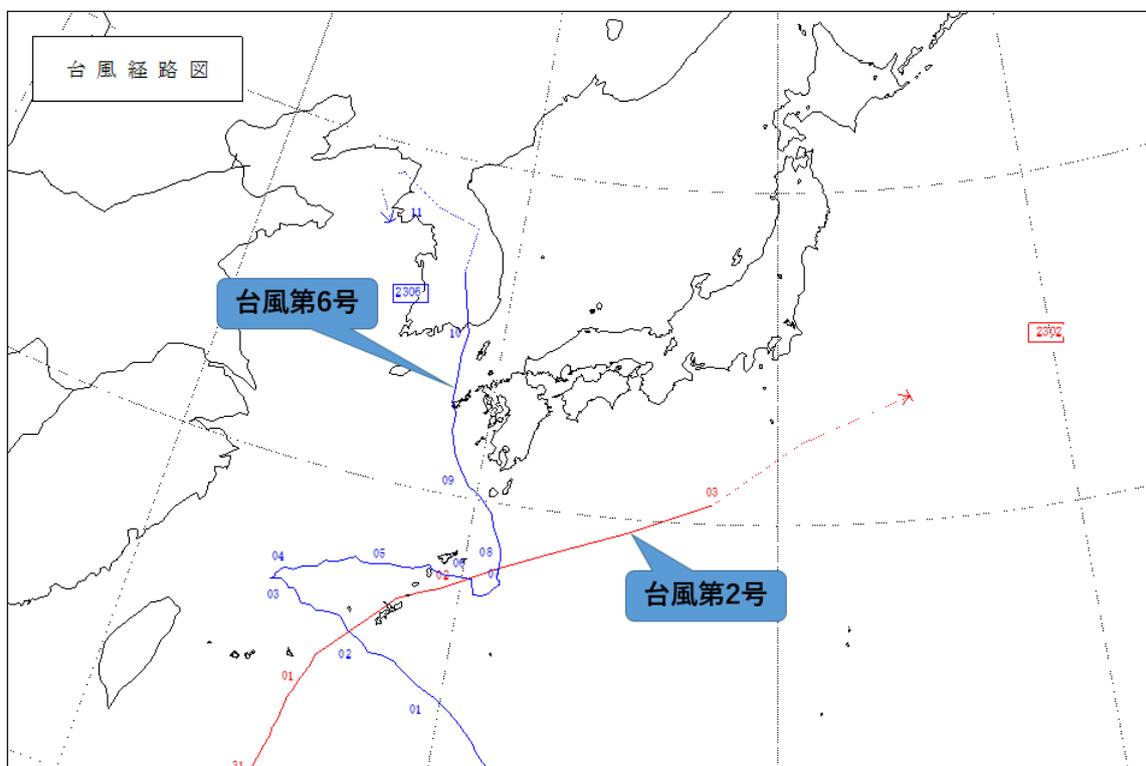


図4 九州（山口県を含む）及び奄美地方に接近・上陸した台風経路図

表7 九州（山口県を含む）及び奄美地方への接近数

2023年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
九州北部地方							1						1
平年値				0.0	0.1	0.3	0.8	1.1	1.1	0.4			3.8
九州南部					1		1						2
平年値				0.0	0.1	0.4	0.7	1.0	1.2	0.5			3.9
奄美地方					1		1						2
平年値				0.0	0.2	0.4	0.7	1.1	1.3	0.7			4.3

※接近は2か月にまたがる場合があります、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。